

顔の観察

顔と腹部、鼻梁と腹部も関係が深い。

顔は頭頂の延長であるという面があり、意識と体の関係が最も緊密な部位である。

反射点として顔を使う場合、手を使うのであれば“やわらかく“あるいは押圧のかわりに“広げる”“ひっぱる”ことになる。

場所によってはソニックハンマーがベストである。外後頭隆起、乳様突起、乳突切痕、鼻梁（ビデオ参照）などである。

絵をクリックしてください。



若い人が、今日的な問題ですが、過重な肉体労働を強いられて全身的に緊張、張力が強まっている場合、ひたいが赤くなる、あごから首にかけて赤くなるという例が多くあります。こんな場合は、全身の張力を下げるというアプローチと操作になります。

したがってスリーブについても、大きな単位、おおづかみにとらえ、操作も大きなものを必要とします。ハンマープラス“ゆすり”プラス“音”“プラス”引き“あるいは“押し”です。

ひたいはかかとのパートナー、

手のひらは全身の反映プラス意識の反映です。

そして、張力の末端は爪です。

これらと顔の関係をいつも観察します。

